

発行所

一般社団法人 大阪北区歯科医師会

大阪市北区南森町1丁目4番28号
プールパール南森町205号室

TEL(06)6363-0016 FAX(06)6363-0046

2016年新年号

ほくし

迎春

年頭所感

大阪北区歯科医師会 会長 大塚 俊裕



明けましておめでとうございませう。会員の皆様方には、お健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平成二六年四月の法人制度改革により新たな一般社団法人に移行しました。そして、昨年六月に開催された総会で移行後、初めての任期満了に伴う選挙が行われました。従来の会長・監事選挙とは異なり、新定款に則した理事、監事選挙が行なわれた。理事の互選で理事長すなわち会長が決定するという運びで、伝統ある大阪北区歯科医師会の会長に就任させていただくことになりました。

私は黒川執行部で六期十



二年、高麗執行部で三期六年、足かけ一八年間、執行部の一員としてお仕えしてまいりました。両先生が築き上げられたスローガンを継承し、

一、執行部一丸となった会員の方々のための円滑な会務執行

一、明るく活気ある歯科医師会の推進

一、会内融和

一、伝統の継承

一、会外との緊密な連携以上の事柄を念頭に置き、二名の新理事を含めた新執行部のメンバーと共に意欲と情熱をもつて会務を遂行しております。

就任させていただいて、早半年が経過いたしました。が、会員の皆様の温かいご理解とご協力のもと、お陰様で大過なく諸事業を進めさせて頂いております。役員一同心から感謝いたしております。

さて、みなさんご存じのと

おり、二〇二五年に日本の国民皆保険制度は大きな転換点を迎えることとなります。団塊の世代が、七五歳以上の後期高齢者となられます。すなわち、二〇二五年になりますと日本は人口の四分の二が七五歳以上の後期高齢者、人口の三分の一が高齢者という超高齢社会となり、要介護や認知症、一人暮らしの高齢者が増加する一方、現在も不足している介護職員がさらに少なくなり、老老介護や介護難民、孤独死などの問題の深刻化が懸念されてまいります。また、社会保障費の給付総額は年間約百五〇兆円に拡大すると試算され、財源問題がますます深刻になってきます。

二〇二五年問題の対策として政府が進めているのが、高齢者を地域全体で支援し、最後まで在宅で暮らせる社会を目指す「地域包括ケアシステム」です。当会も大阪府歯科医師会の在宅歯科医療連携体制推進事業の一環で、在宅医療・介護に携わっていただける多職種の方々に向けて、毎月講習会を開催し、高齢者の口腔ケアや歯科治療、摂食・嚥下などをより理解して戴くように努めております。特に昔はドーナツ化現象で北区の住民は少なくなっておりますが、最近では高齢者

が人生の最後まで在宅での暮らしを続けられる北区に移住して来られる傾向があります。と言いますのも、北区には大阪を代表する大病院がたくさんあり、地価は高いですが大型の高層マンション建築も進んでおります。マンションの下にはコンビニがあり、歩かなくても老人の用が足せる社会構造になっております。いま、まさにドーナツ化現象からアンパン化現象に変化してきております。二〇年後に迫り来る社会構造、まさに社会の大津波に対して足場を揺るがすことなく対応できるように、大阪府歯科医師会の指導の下、会員相互が団結して協力し合い、関係官庁と連携を密にして、医師会、薬剤師会、介護関係者、デンタルファミリーである歯科技工士会、歯科衛生士会と手を携え、努力してまいります。今後も当会の伝統である「和を以て尊しと為す」の精神をモットーに、執行部一丸となつて会務に全力を尽くしてまいりますので、どうぞ本年も旧に倍するご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

本年が会員の皆様方にとって、良い年になりますことを、心からご祈念いたしまして、年頭のご挨拶とさせて頂きます。

パノラマ

昨年は、世界的にはギリシャ経済破綻を発端としたEU債務危機に始まり、中国経済減衰、円安、原油暴落、中東をめぐる社会不安とテロなど、経済環境も大きく影響を受ける二年となりました。一方で、国内では多くの大企業が最高益を記録し、賃上げや失業率の低下など景気回復に向けて明るい材料もありました。

二〇二六年は、大手シンクタンクによりますと、日本経済は原油安、法人税率軽減などでオリンピックに向けた経済の緩やかな自律成長が予想されております。中小企業にはまだまだその実感はみられませんが、景気が上向いてほしいものです。

一方、歯科界に目を向けると歯科医療費の増加より歯科医院数の増加のほうが顕著で、経営はますます厳しいものになっております。さらに人材採用において歯科衛生士だけではなく、歯科助手や受付の雇用も困難になってきているのが現状です。そのため、スタッフの雇用のため給与を上げざるを得ず、人件費の高騰が歯科医院の収益を圧迫してきております。今年の四月には保険改正を控えており、現状が改善するよう期待したいところです。(一)

年頭所感

一般社団法人
大阪府歯科医師会
会長 太田 謙司



謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、本年が会員の皆様、ご家族にとりまして実り多く、また多き年となりますことを、心からお祈り申し上げます。

現在、私は三期目の府歯会長職を務めておりますが、昨年十一月には府歯創立九〇周年の記念式典を開催することができました。大正一五年から連綿として続く歯科医師会活動の歴史から学び、明日への展望を考える節目の式典となりました。これも会員各位のご尽力の賜物であり、府歯関係団体五会の功労者の方々を表彰いたしました。

昨年、日歯は日歯連盟の問題により混乱いたしました。が、年末に会長予備選挙を実施することになりました。今後は新会長の手腕に期待し、府歯は各方面でできるだけ支援協力していくつもりです。

さて、歯科界を取り巻く状況は依然厳しく、昨年の医療経済実態調査を見ても収支は改善しておらず、今回の診療報酬改定においても十分な改定はなされず、経営面での改善は難しい状況が続きます。しかし我々は今後も国民からの信頼を得るために、より良質な歯科医療を提供しなければなりません。同時に国策としての地域包括ケアシステムの中で、歯科は実践を持ってその責務を果たさなければなりません。

近年、歯科疾患と全身疾患との関連に関する研究が進み、中でも糖尿病や動脈硬化症といった、いわゆる生活習慣病と歯科との関連が明らかになってきました。メタボリックシンドロームの根幹には内臓脂肪型肥満があり、生活習慣病の改善には、食生活のコントロールと運動が必須であると考えられています。よく噛んで、楽しく食事をするには、歯科的健康状態が重要であることは言うまでもありません。

スポーツを通じて、健康を増進するために、歯科医

学の分野から専門的にサポート、アドバイスするという日本体育協会公認スポーツデンティストが昨年初めて誕生し、今後二期生、三期生とその数を増やすことにより、活躍の場が広がることを期待されます。いろいろな競技の現場にスポーツドクターが関わることは珍しくありませんが、スポーツデンティストがいることも当たり前のようになれば、国民の歯科への重要性の認識が深まることを期待されます。ぜひ今後この分野の発展を目指したいと考えています。

今年も歯科界の状況は厳しいことが予想されますが、府歯会員・役員が力を合わせれば光明を見出すことも可能であると考えます。どうか本年も旧年に増してご指導ご鞭撻、そしてご協力をいただくことをお願いして年頭の所感といたします。



新年のご挨拶

大阪市
北区長 古屋 和彦



新年明けましておめでとうございます。皆様方には、平素より市政・区政の各般にわたり、格段のご支援とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

月日がたつのは早いもので、区長に就任して二度目のお正月を迎えました。これまでに「安全、安心で、誰もが住みたいまち」、「区民の皆様方の満足度・幸福度が高く、最も魅力的なまち」などの目標を掲げ、区政運営に取り組んでまいりました。

ご承知のとおり近年、区内にも次々とマンションが建設され、新しい住民が増えており、若い子育て世代も増えてきています。そのため「子育て支援」、「教育環境の支援」に力を入れるとともに、区民全体にとつての大きな課題である「防災対策」も含め、この三つを重点施策として進め、利便性の良いこの北区が、ハード面だけ

でなくソフト面でもますます住みたいまちとなるよう、行政だけでなく区民の皆様方、各種地域団体、民間企業と連携・協働しながら、様々な行政課題に対応していく必要があると考えております。

健康増進施策に関しましては、生涯を通じて心身ともにすこやかであることは、幸せな暮らしの原点であり、その実現には、市民の主体的な健康づくりのための取り組みが重要と考えております。

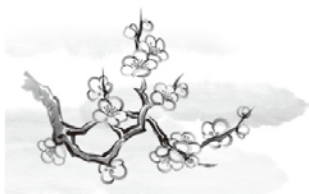
大阪市におきましては、大阪府健康増進計画「すこやか大阪21(第二次)」を策定するとともに、ライフステージに応じた生活習慣及び社会環境の改善をめざす六分野のうちのひとつとして「歯・口腔の健康」を掲げ、「定期的な歯科健診の受診」、「歯周病予防」、「う蝕予防」、「歯の喪失予防」、「口腔機能の維持・向上」の5つの取り組みの柱と目標項目を設定して取り組みを進めております。

当区におきましても、歯科医師会のご協力のもと歯科健康相談事業、歯周病疾

患健診事業及び乳幼児歯科健診事業などの取り組みに加えて妊婦歯科健診や「北区みんなの健康まつり」における普及啓発など、多くの歯科保健事業を実施するにあたり、大阪北区歯科医師会会員の先生方のご協力のおかげで円滑に事業実施ができておりますこと、また区民の健康保持と疾病予防を効果的に推進できておりますことに対して改めて感謝申し上げる次第でございます。

今後も、より魅力的な北区となるよう、職員一丸となつて全力を尽くしてまいりますので、引き続き皆様のご理解と二層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、大阪北区歯科医師会のみますますのご発展と皆様方のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

大阪市北区保健福祉センター
医務主幹 澤田 好伴



新年明けましておめでとうございます。大阪北区歯科医師会の皆様方におかれましては、清々しい新年をお迎えのことと心より喜び申し上げます。平素は北区保健福祉センターの保健衛生事業や、区民の歯科衛生の向上のために多大なご協力を頂き誠にありがとうございます。小児に對しましても、毎月の一歳六か月児健診、三歳児健診の際に歯科健診をして頂き、北区の幼児の歯科衛生の向上のために多大なご協力を頂き誠にありがとうございます。厚く御礼申し上げます。今年も変わらぬ支援を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

さて、その三歳児歯科健診を受診した幼児とその保護者の方を対象に、今年も「よい歯のコンクール」の北区代表選考会が開かれます。この「よい歯のコンクール」

について調べてみますと、今年で六四回目を迎える歴史のあるものだということになりました。NHKの紅白歌合戦が今年で六五回目ですから、紅白と同じく、六〇年以上の歴史をもった本当に由緒あるコンクールだと思っています。そういえば、有名な古代の詩人である杜甫が、千年以上前に楊貴妃の美しさを称えた「明眸皓齒（めいほうこうし）という四文字熟語があります。以前は、結婚式のあいさつでよく使われました。美しい歯が憧れであることは六十年どころか、千年を経てもきっと変わらないものなのでしょう。今年も会員の皆様方のご努力で、北区民、北区の幼児たちが、いつまでも健康で美しい歯を持つことを願っております。

最後になりましたが、大阪北区歯科医師会のますますの発展を祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。



申年年男・年女

昭和 7年 19年 31年 43年 55年



いい日旅立ち

1班 東郷 達夫
(昭和19年9月14日生)



六度目の申歳を迎えました。郷里の高校を卒業して大阪に来て五四年、北区北支部にお世話になりました。紆余の月日が流れました。紆余曲折多くのことがありましたが支部の先生がたをはじめ、家族や友人の支えにより七二年の人生を歩めたことは大変ありがたく思います。ようやく人生坂の頂きにきたようです。

さて、一休みしたいところですが時の流れは待ってくれません。いつまで続くかこれからの道を、時には振り返り、多くを望まず、反省するところは素直に改め、努力したらぬところはさらに精進し、第二の人生を健康に留意しながら有意義に送れる新たな出発の歳として「いい日旅立ち」になるように願いたいものです。

上求菩提 下化衆生

6班 阪田 和夫
(昭和31年4月8日生)



大乘仏教の教えの中に、自分自身は上に向かって完成を目指すと共に、後に続く者には指導の心を持つ、と言う意味を持つ言葉が「上求菩提、下化衆生」である。年男として今回で五度目になる。そして今回は名前が変わって「還暦」と言う呼び名に変わった。人生一回りしたことになる。

二四歳で卒業して歯科医になり前途洋々？三六歳でチョットだけ世の中の何かが分かり、四八歳で本当なら充実した仕事が出来ていなければならなかった。そして今度は還暦で世間のサラリーマンなら定年退職。しかし我々歯科医はその定年退職は無い。私は幸せなことに一回り上に大好きな先輩がいた。その背中を目標にこれまでやってこれ

年男

8班 佐藤 修二郎
(昭和43年8月14日生)



あけましておめでとうございませう。

日ごろ皆様方には大変お世話になっております。誠にありがとうございます。日々歳のことなどすっかり忘れておりましたが、今年四度目の年男となりました。千支の猿は山の賢者で、古くは山神の使いと信じられていました。また器用で臨機応変を表すそうです。

しかしながら我がことを振り返りますと 年々器用さ、臨機応変さにも磨きがかからず、反対に錆ついたのか？焼きが回ったのか？反省しなければなりません。

神様か仏様からなのか与えられたテーマとして今年には特に臨機応変、機を見る

た。しかし、ふと我に返ったときに、私の背中を目標にしてくれた後輩が何人いただろうか？自分の事しか考えず無我夢中でここまで来たが、これからは、後輩達の目標になれるように次の年男まで頑張ろうと思う。

に敏にならなければならぬようです。

産まれた昭和43年の年表を読んで見るとベトナム戦争テト攻勢、メキシコ五輪でサッカー銅メダル、ゴルフ13連戦開始もこの年だそうです。

ゴルフ13よりも長くない仕事が続けられるかどうか解りませんが、今年も仕事に真摯に向き合い、何事にも挑戦し、知らずを知り、至らずに気づき、何事にも勉強精進し、明るく成長できる年になりたいと思います。

今後とも皆様のご指導ご鞭撻、叱咤激励ならびに適度のツツコミの程、何卒宜しくお願い致します。

年男

1班 筒井 純也
(昭和55年6月2日生)



新年明けましておめでとうございませう。

年男ということで原稿の依頼をうけ、僥越ですが抱負を書かせていただきます。

この前に「年男」であった二〇代半ばと比べると、この十二年の間には、自身の置かれた立場や環境に大きな変化が

ありました。まず仕事面では、ちょうど十二年前に歯科医師となり、勤務医として経験を積ませていただいた後、アメリカへの三年間の留学を経て、三年前に開業したことがなによりも大きな出来ことでした。また、私生活の面では結婚、昨年には次男が誕生し二児の父になりました。両親、兄、妻の家族全員が歯科医師で私生活、仕事の両面で良き理解者であり多くの支援があるので今の自分があります。振り返ってみますと本当に感謝がわいてきますし、幸せだと感じています。仕事面では院長、家庭面では父として責任を全うできるように、自院のスタッフと家族に貢献したいと強く想うようになりました。

今年の抱負としては、傾聴を大切に、身近な人と多くのコミュニケーションをとり、良き理解者になること。ダイエットして一五キロ痩せて学生時代の体重に戻す。毎朝、この二つの目標を意識するように心がけていきます。毎年、少しでも成長できるように一日一日を大切に頑張っていこうと思いますので、ご指導・鞭撻のほどよろしくお願ひ申し上げます。

最後に皆様の「健康と」多幸をお祈り申し上げ今年抱負と致します。

二〇一六年 新年互礼会開催

ヒルトン大阪
四階・真珠の間

H28.1.9

HP



一月九日(土)、ヒルトン大阪四階真珠の間において、二〇一六年新年互礼会が、関係官公署および団体代表、議員の来賓を招き、七十二名が出席し開催された。佐々木裕専務理事が司会を務め、野口秀夫副会長の開会のことばで始まった。最初に大塚俊裕会長が新年の賀詞と参会への謝辞をのべた。続いて古屋和彦大阪北区長、太田謙司大阪府歯科医師会会長にご挨拶をいただいた。

西本雅英総務常務理事による来賓各位の紹介の後、

田淵義勝大阪北区医師会副会長、中山泰秀衆議院議員、久谷眞敬大阪府議会議員に祝辞をいただき、中島孝大阪市北消防署署長の音頭で乾杯して懇親会に移った。

多くの会員が来賓や会員相互と和やかに交流し楽しく時が流れていった。最後に木下秀人副会長のあいさつで閉会となった。尚、来賓各位は次の通りであった。

(順不同敬称略) 古屋和彦(大阪北区長) 太田謙司(府



歯会長) 林正純(府歯常務理事) 後藤修一郎(府歯理事) 長崎三男(府歯連盟理事) 岩崎晴彦(府歯国保組合常務理事) 三輪佳子(府歯国保組合理事) 中島孝(大阪北区消防署署長) 田淵義勝(大阪北区医師会副会長) 尾辻淳(北区大淀歯科医師会会長) 阪真司(北区北薬剤師会副会長) 草分陽一(北区大淀薬剤師会理事) 中山泰秀(自由民主党大阪支部連合会会長・衆議院議員) 久谷眞敬(大阪府議会議員) 前田和彦(大阪府議会議員)



編集後記

今年は温かいお正月でした。本年もよろしくお願ひ致します。(広報部一同)